

シアトル別院時報

28巻 11月号

2009年度教化標語
世の中安穩なれ

智慧と慈悲の光明に照らされて

シアトル別院輪番 松林芳秀

米国仏教団規約の序文には、「各会員は、仏法僧の三宝を敬い、浄土真宗本願寺派に従って、親鸞聖人のみ教えを信奉する」と明記してあります。この様に、仏と法と僧の三宝を敬う心が米国仏教団門信徒の基本的態度であると示されています。

日本仏教の祖として仰がれ、今日に至るまで、広く日本国民に敬愛されている聖徳太子は、七世紀の初め、国を統一するにあたり、『十七条の憲法』を制定されました。第二条には、米国仏教団規約の序文の如く、「あつく三宝を敬え、三宝とは仏・法・僧なり・・・」と広く宣言されています。

仏とは真実に目覚めた智慧ある覚者のことです。又、仏とは真実そのものです。真実の智慧は、半面、慈悲として働くものです。仏の智慧と慈悲が米国仏教団門信徒を導く光明です。

法とは仏の教えです。法は、又、永遠に存在している物の道理や真理を意味します。仏教を開かれた釈迦牟尼仏陀(シャカムニブツダ)は法について、「私がこの世に出生して仏の法(教え)を説いたけれども、その法(教え)は、私がこの世に出生するしないに関わらず、永遠に存在している」と述べておられます。釈迦牟尼仏陀は人類史上初めて、法を発見されて説かれました。その事を仏教では“初転法輪(初めて法を活動され始めた)”と云います。米国仏教団(サンガ)は永遠の真実の法に導かれていくのです。

僧(サンガ)とは、調和の心を持つ仏教徒の集まりです。仏の智慧(無量光)と慈悲(無量寿)の光明に照らされて生きる人々です。

日本の東宝映画会社の映画監督であった亡き叔父は、『私の映画、海軍、仏さま』と云う著書の中で、映画スタジオでの種々の照明の重要さについて述べています。

「撮影用のライトが消えたステージは、まっ暗闇になるはずであるが、今まで煌々と点(つ)いていた昼もあざむくような光が全部消えたとき、ステージの天井にかぼそくついている電灯があって、その一条の光が、ステージを出て行く人々の足元を照らしている。この天井にいつもひっそりついている電灯を、私達は常夜灯(じょうやとう)と呼んでいる。この常夜灯は何百キロものライトをつけて撮影しているときも、ステージの天井から私達を照らしてしてくれる。監督生活三十



11月の予定

- 1日 家族法要 10時
日本語法要
- 7日 英語セミナー 生田先生
- 8日 永代経、無縁法要 10時
日本語法要 生田先生
- 11日 ベテランズデイ 事務所休み
- 15日 家族法要 子供法要 10時
日本語法要なし
- 22日 家族法要 10時
日本語法要
- 26日 サンクスギビング 事務所休み
- 29日 家族法要 10時
日本語法要

12月の予定

- 6日 成道会法要 日本語法要
ポットラックランチ
- 13日 別院総会
- 20日 別院大掃除
- 31日 除夜法要 7時

年、私はこの明滅の一瞬に、私達の足元を照らしてくれたしたたかな光、常夜灯を仰ぎ見ながら、いい知れぬ感動をおぼえた。」

私達は煩惱にまなこをさえぎられて、仏の智慧と慈悲の光明を見ることが出来ません。親鸞聖人はこの様な私達のすがたを『高僧和讃』の中で、

煩惱にまなこさへられて 摂取の光明みざれども

大悲ものうきことなくて 常にわが身を照らすなり

と詠んでおられます。実に、映画スタジオのステージの天井についている常夜灯のごとく、仏の智慧と慈悲の光明は常に私達を照らしています。親鸞聖人は『正信偈』の冒頭で、「南無不可思議光」と示されました。“不可思議な仏の光明に帰依します”と光明に照らされて生きる私達の人生を感謝いたしましょう。南無阿弥陀仏

55、自然(じねん)

沼田智秀著「さええあって」百八つのおもい より

自然は、普通は「しぜん」と読み、山や川や草や木や、人間の手を加えないありのままの外界をいいます。

浄土真宗をお開きくださった親鸞聖人は、これを「じねん」と読み、私たちをお救いくださる阿弥陀さまのおはたらきといただかれます。親鸞聖人は、

「自然」というは、「自」は、おのづからという、行者のはからいにあらず。しからしむということばなり。

「然」というは、しからしむということば、行者のはからいにあらず、如来のちかいにてあるがゆえに。と教えてくださいます。

私が、今、ここに私として存在しているのは、私がこうなろうと思ってなっているのではなく、私のはからいをこえて、自ずからこうしからしめてくださる如来の誓いがあったからです。そんな私を私にしてくださる大きなはたらきが、「じねん」なのです。



メディテーション セッション

毎日曜日朝 8 時 45 分—9 時半までと水曜日朝 10 時より前輪番ハウスにてメディテーションがおこなわれております。ぜひご参加下さい。

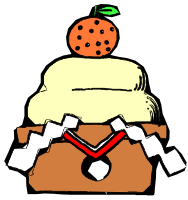
別院理事長より

田原 優

米国佛教団よりのお知らせから少し抜粋して御報告いたします。

先ずアイダホ・オレゴン佛教会の藤本デニス先生はサダモリ・シャーモンさんと九月二十日に小杭総長が式をつかさどって結婚されました。ご存知のように藤本先生はその一週間前には私共のお寺で秋季お彼岸法要においでになりユーモアたっぷりな御法話をされましたね。結婚といえば春季お彼岸に日本語の聞法をここでされたニューヨーク仏教会の中垣敏和先生も6月30日に御結婚をされました。

もう一つの米国佛教団よりのお知らせは2011年に5月15—17日に京都で行われる親鸞聖人750回忌法要と世界佛教婦人会大会に就いてです。この行事に参加される方達の正式参加申し込み書を受け取りました。シアトル別院婦人会は婦人会会員のみを対象としてその手続きを始めています。婦人会会員以外の方で記念行事に参加される場合は個人別に至急その手続きをして下さい。締め切りは十二月一日です。申込書はお寺の入り口のテーブルの上にあります。



別院新年会

別院の新年会は1月10日2010年です。チケットは11月29日より売り出されます。早い目にお求め下さい。詳細は事務所にお尋ね下さい。



会員部より

今月も英語部に会費お支払いの方のお名前があります。この方々は09年の維持会費をお支払いになった方々です。70才以上は\$250(\$500ご夫妻)、70才以下は\$300(\$600ご夫妻)です。これは別院の維持に対しての最低額になります。別院年会費は9月末が締め切りになり10月からは2010年度の会費となります。2010年分の維持会費をお支払いの方々の名前も英語部に掲載してあります、ありがとうございます。

ダーマスクール

10月4日に初参りをおこないました。あたらしい生徒と家族を歓迎します。



キャンプファイアー

100才の誕生日記念—来年の3月28日に100才になるキャンプファイアーの前・現メンバーにこの日にカレンダーをマークして下さい。

婦人会便り

- ・寄付感謝録 一般寄付は、英文寄付欄を参照下さい。
- ・活動部

11月4日……メデイケアについてのクラス
中村ジューデイス 提出

・11月行事予定

- 1日 SBBWA 理事会議
- 8日 永代経、無縁法要
- 15日 SBBWA 総会、慰労会(理事のみ)
- 24日 敬老慰問、午前10時(SBBWA、別院合同)
引き続き月例サービス、午前10時半
- 29日 SBBWA 12月理事会議、2010—2011年度役員選挙
通信書記(日) 清水和美 提出



日本語聞法セミナー「浄土真宗の要綱」 シアトル別院輪番 松林芳秀
9月22日—12月1日(火曜日) 7時—8時(6時半正信偈)
日英語にて BCA 会員 \$20、非会員 \$30
ご参加ご希望の方は別院事務所まで連絡して下さい。

日本語版のイーメール・アドレス Newsletter-jpn@seattlebetsuin.com
シアトル別院時報日本語面翻訳・編集 和田真知子

